
体育史学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 206 2013. 4. 15.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1-1
福岡教育大学 保健体育講座
榊原浩晃研究室内

Fax: 0940-35-1709 (保健体育講座共通)
hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp

事務局への連絡は Fax または e-mail をご
利用下さい。

1. 体育史学会第2回学会大会（2013年度）の開催について

体育史学会第2回学会大会（2013年度）は、下記のとおり5月11日（土）および12日（日）の両日、後藤光将会員（明治大学）のお世話により、明治大学和泉キャンパスにて開催いたします。一般研究発表は、次頁のように9演題となりました。この他に体育史研究・研究方法セミナー（演者：阿部生雄先生）を実施いたします。発表抄録集（冊子）は、5月上旬の研究集会前にお手元に届くように準備しています。なお、体育史学会HPにアップいたしましたので、ご覧下さい。なお、発表時間は、1演題あたり発表20分、質疑10分（計30分）です。当日、資料を配付される発表者は50部ご用意下さい。

なお、今回の体育史学会大会は、参加費1,000円を徴収します（学生会員は参加費を徴収しないことにします）。懇親会費は5,000円です。

懇親会は第1日の一般研究発表、体育史研究・研究セミナー終了後、京王井の頭線永福町駅近くのマッシモッタヴィオ（MASSIMOTTAVIO）というナポリピッツァが食べられるお店で行います。

マッシモッタヴィオ（MASSIMOTTAVIO）：京王井の頭線永福町駅北口を出て道路を渡り左折、井の頭通りを直進した右側（駅から徒歩数分）

電話：03-6802-7648 URL：<http://www.massimottavio.com/>

懇親会に参加される会員の皆様は、準備の都合上、5月7日（火）までに体育史学会事務局の榊原浩晃会員のメールアドレス（hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp）に「体育史学会春第2回学会大会 懇親会参加 会員氏名〇〇〇〇」というようにお知らせください。毎回懇親会参加人数の把握に苦慮しております。参加予定の会員の皆様は、メールで事務局までお知らせ下さい。

体育史学会第2回大会

期日：平成25年5月11日（土）及び12日（日）

場所：明治大学和泉キャンパス（〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1）

会場：第1校舎 第1日目と第2日目は、会場が異なりますのでご注意ください。

5月11日（土） 第一校舎403教室（4階）

5月12日（日） 第一校舎001教室（地下1階）

京王線／井の頭線 明大前駅 下車徒歩5分

■京王線

新宿駅から特急・準特急で1駅目（約6分）、急行・通勤快速・快速で2駅目（約7分）、各駅停車で3駅目（約10分）

■都営新宿線（京王新線直通）

[快速（橋本行）]新宿→笹塚→明大前（新宿から4駅目約10分）

[各駅停車（笹塚行）]新宿→笹塚（京王線乗り換え）→明大前（新宿から12分）

■井の頭線

渋谷から急行2駅目（約7分）、各駅停車7駅目（約12分）

吉祥寺から急行3駅目（約13分）、各駅停車9駅目（約17分）

抄録集は体育史学会（体育史専門分科会）ホームページをご覧ください。

(<http://www.taiikushi.org>)

第1日目、一般研究発表、体育史研究・研究方法セミナー（学会企画）および懇親会（11日）、

第2日目研究発表・総会（12日）の予定です。

5月11日（土）13:30～18:00 一般研究発表、研究方法セミナー終了後、懇親会を開催します。

5月12日（日）9:00～12:00 一般研究発表、10:50～12:00 総会

研究発表は、発表時間20分質疑10分、計30分です。冊子体の発表抄録集も作成し、全会員に発送する予定です。

学会企画（体育史研究・研究方法セミナー）

17:00～18:00 第1日目 一般研究発表終了後

（趣旨）

一般研究発表に加えて、学会大会で若手の会員へのレクチャー形式で「体育史研究・研究方法セミナー」と題する内容をプログラムに組み入れ、今回は筑波大学名誉教授の阿部生雄先生にご登壇いただけることになりました。

演者 阿部生雄（筑波大学名誉教授）

「スポーツ史におけるイデオロギーと無意識：概念史、人物史、制度史」

司会 榊原浩晃（福岡教育大学）

体育史学会 第2回学会大会（2013年度） 日 程

第1日 5月11日（土） 一般研究発表、研究方法セミナー及び懇親会

受付 12:30より 開会 13:30

時 間	題 目	発 表 者	座 長
13:35～ 14:05	精力善用・自他共栄と大乘仏教の「般若智」 （無分別智）—「生活禪」の修行をモデル にした嘉納柔道—	高平 健司 <small>（筑波大学研究生）</small>	榊原 浩晃 <small>（福岡教育大学）</small>
14:05～ 14:35	自然人猪谷六合雄父子のスキー人生	土屋 晴夫	新井 博 <small>（びわこ成蹊スポーツ大学）</small>
14:35～ 15:05	昭和戦前期における師範学校体操科担当 教員の免許取得状況 ——「教員免許台帳」を用いた検証——	古川 修 <small>（公財）埼玉県体育協会</small>	大久保英哲 <small>（金沢大学）</small>
15:05～ 15:20	休 憩		
15:20～ 15:50	「体操術ノ世代」(明治12年)にみる和漢文の 記述内容の検討—古代社会の体操とオリンピ ヤゲームに着目して—	田端 真弓 <small>（大分大学）</small>	和田 浩一 <small>（フェリス学院大学）</small>
15:50～ 16:20	黎明期 GAA のゲーリックゲームズ —第一回オールアイルランドチャンピオンシ ップスを手がかりに—	榎本 雅之 <small>（滋賀大学）</small>	秋元 忍 <small>（神戸大学）</small>
16:20～ 16:50	総力戦研究所 (1941.4～1943.12) における「体 育」に関する一考察	崎田 嘉寛 <small>（広島国際大学）</small>	鈴木 明哲 <small>（東京学芸大学）</small>
16:50～ 17:00	休 憩		
17:00～ 18:00	研究方法セミナー： スポーツ史におけるイデオロギーと 無意識：概念史、人物史、制度史	阿部 生雄 <small>（筑波大学名誉教授）</small>	榊原 浩晃 <small>（福岡教育大学）</small>
18:40～ 20:40	懇親会（マッシモッタヴィオ（MASSIMOTTAVIO）） 京王井の頭線永福町駅北口を出て道路を渡り左折、井の頭通りを直進した右側（駅から徒歩数分）		

第2日 5月12日(日) 一般研究発表及び総会

時間	題目	発表者	座長
9:00～ 9:30	1948年第14回オリンピック・ロンドン大会において日本が招待されなかった理由の一考察—A.フランダージ・コレクション史料の検討を中心に—	和所 泰史 (中京大学大学院)	田原 淳子 (国士舘大学)
9:30～ 10:00	幻の札幌冬季オリンピック開催に向けてのスキー振興—昭和3-11年における中央と地方の振興—	新井 博 (びわこ成蹊スポーツ大学)	實学 淳郎 (金沢大学)
10:00～ 10:15	休憩		
10:15～ 10:45	「縄飛」に始まる高跳び競技判定用具の変遷	木下 秀明	大熊 廣明
10:50～ 12:00	総 会		

会場責任者:後藤光将(明治大学)

II. 日本体育学会第64回大会におけるシンポジウムおよびキーノートレクチャーの実施について

平成25年8月28日～30日に開催される日本体育学会第64回大会(立命館大学草津キャンパス)において、専門領域「体育史」企画として以下のシンポジウムとキーノートレクチャーを実施する予定です。

(1) 専門領域体育史シンポジウム

①日程:2013年8月29日(第2日目) 10:00～12:00

②テーマ:

「極東スポーツ界の軌跡——戦前の中国・朝鮮・日本・フィリピンを中心に——」

③演者:高嶋 航(京都大学文学部准教授)

④コメンテーター:坂上 康博(一橋大学,コーディネーター兼),
金 誠(札幌大学)

シンポジウムのコーディネーターは、坂上康博先生が兼ねられます。

(2) 専門領域体育史キーノートレクチャー

「朝鮮近代体育・スポーツと日本(仮題)」

演者:西尾 達雄(北海道大学)

司会:金 誠(札幌大学)

日程:2013年8月29日(第2日目) 13:00～14:00

III. 編集委員会報告

『体育史研究』第30号には原著論文4編、資料3編の投稿があり、編集委員会による審査手続きが進められています。なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われておりますが、各年度の投稿締め切りは9月末となっております。詳細については『体育史研究』第20号以降に掲載されている投稿規程をご覧ください。投稿先は編集委員の來田享子先生の所属勤務先です。『体育史研究』に投稿される会員の皆様は、投稿原稿送付先にお送り下さい。

〒470-0393 豊田市貝津町床立101
中京大学スポーツ科学部 來田享子先生研究室気付
「体育史研究」編集委員会
電話 0565-46-6568 (研究室直通)
E-mail kraita@sass.chukyo-u.ac.jp

IV. 会報の電子化に伴う会員による e-mail の登録について (お願い)

(1) 会報の電子化により、体育史学会会員は事務局まで以下の要領で e-mail アドレスをお知らせ願います。事務局で会員メールアドレスを作成し、登録いたします。

[e-mail アドレス使用の用途]

- ① から③の用途に会員のメールアドレスを使用し、その他の用途には使用しないこととする。
- ② 体育史学会会報 (添付資料 MS-WORD 書式) を配信するために会員 (正会員、学生会員、名誉会員) からお申し出のアドレスを使用する。複数のアドレスでもよいこととする。ただし、携帯電話のメールアドレスは不可とする。
- ③ 体育史学会に関する事務局からの連絡や会員への問い合わせに使用する。
- ④ 一般社団法人日本体育学会事務局からの体育史学会会員への連絡事項や会員への問い合わせに使用する。

[e-mail アドレスの事務局への登録方法]

- 1) 事務局長のメールアドレス (榊原浩晃, 福岡教育大学, hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp) にメールを送付する。件名: 体育史学会メール登録, メール本文に「会員氏名, メールアドレス」を入力する。
- 2) 事務局長からのメール返信 (会員メールアドレス, このメールが体育史学会事務局へ登録されました。) によって, 登録手続きが完了したこととする。
メール返信は, 自動化されていませんので, 事務局長不在の際は, 返信が遅れることがあります。返信がない場合は, 再度送信していただくか, メールか, ファックスで問い合わせして下さい。

(2) HPに会報をアップした旨のメールを登録メールアドレス宛に配信いたします。そして, 会報の内容を体育史学会ホームページ (<http://www.taiikushi.org>) よりご覧いただくようにしております。なお, 会報の受け取りや事務局からの連絡について, e-mail をお使いにならない会員は, はがきか封書でその旨事務局にご連絡下さい。e-mail をお使いにならない会員に対しては, そのお申し出を受けて封筒による紙媒体で会報をお送りいたします

V. 会費を銀行口座からの自動引き落としによって納入されていない会員の方へ

平成 25 年度会費は、郵便振替または、ゆうちょ銀行への振り込みをご利用下さい。
(5 月 12 日から加入者名を変更する予定です。新加入者名は次回会報でお知らせします。)

会費納入のために郵便振替をご利用の会員の皆様へ平成 25 年 5 月 11 日までは以下の口座番号、加入者名を継続します。

郵便振替口座番号 01050-0-74654 加入者名：体育史専門分科会

または

ゆうちょ銀行 店番 109 (イチゼロキュウ店)

預金種目 当座 口座番号 0074654 受取人名 タイクシエンブンカキ